

高校生の皆様へ



インターハイは高校生にとっては1年で最も重要視する大会の一つだと思います。高校生時代の僕にとってもそうでした。

今まで、色々な我慢をしながら続けてきた練習の成果を試す場所であり、今後の進路などにも大きく影響してくるインターハイが中止になり、大変心苦しい思いをされているかと思います。

ただ、皆様には若さという武器があります。

壁にぶつかってもその壁を壊したり、違う道から壁の向こうへ到達することができるはずです。

今は目の前のインターハイがなくなり、何も考えられないかもしれませんが、時間が経つと気付くはずです。

[長い体操人生の中でインターハイはほんの1ページでしかない]ということに。

冷静に自分の体操人生を見つめ直し、もう一度、真の目標を確かめてみて下さい。

そして、この自粛期間をプラスのエネルギーに変えることができた選手にはきっといい未来が待っていると思います。

大きな怪我に気をつけてまた一步一步前に進んで行ってください。

高校：埼玉栄高等学校 OB 2004年 団体優勝

北京オリンピック 銀メダリスト

株式会社アント 代表取締役 坂本功貴



インターハイ中止が決まって夏の目標を失い、ぽっかり心に穴があいたような喪失感や、虚しさ悔しさを感じていると思います。ただ、一緒に頑張ってきた仲間と競技を通して学んだことは、きっとこれからの皆の人生を豊かに輝かせてくれるはずです。

ゆっくりでもいい。一步一步進んでいきましょう。

北京・ロンドン五輪 新体操 日本代表 田中琴乃

インターハイの中止が決まり、やり場のない気持ちは想像を絶するものだと思います。簡単に「次の目標へ!」といくことができないかもしれません。時間はかかるかもしれませんが、少しでも気持ちが好転するように心がけてみてはどうでしょう。日々の前進が辛い思いを新しい目標へと変えてくれるはずです。

皆さんを応援しています!

新潟経営大学 体操競技部 監督 森赴人

インド独立の父、マハトマ・ガンジー (Mahatma Gandhi) は、

【Because I have restriction, I can fly. Because there is grief, I can soar highly. Because there is adversity, I can run. Because there is a tear, I advance it to the front.】

「制約があるからこそ私は飛べる。悲しみがあるからこそ私は高く舞い上がれる。逆境があるからこそ私は走れる。涙があるからこそ私は前に進めるのだ」と述べています。

今だからこそ成長できる【扉】を是非見つけて下さい。

またいつの日か・・・その日は近く、必ずやってきます。仲間や競技を愛する人たちに思いを馳せ、思いを寄せ、自分を磨き、己を見つめ、【扉】を開ける準備をしましょう。

原田 睦巳

順天堂大学体操競技部 部長兼監督

順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授

シドニーオリンピック日本代表

日本体操協会 体操競技男子強化本部 副本部長

洛南高校 OB 1993年 個人総合優勝